

松浦武四郎「東西蝦夷山川地理取調図」

天塩

納沙布

知床

久摺

十勝

夕張

後方羊蹄

石狩

タマサイ(首飾)

令和7年度プンカラ協働展示

Punkar × TOKYO 2025  
network

国立アイヌ民族博物館共催  
特別展

# AYNU Mosir

The Ainu World : Regional Voices and Cultural Diversity  
Special Exhibition

## アイヌモシリ

—— アイヌの世界と多様な文化 ——

2025

6.28(土) - 9.23(火・祝)

國學院大學博物館 企画展示室

Kokugakuin University Museum Special Exhibition Jun. 28 - Sep. 23, 2025

【開館時間】10:00 - 18:00 (最終入館17:30)  
会期中休館日: 毎週月曜日 (祝日は開館) 及び8月12日 ~ 21日  
10:00 - 18:00 Last admission 17:30 Closed day: Every Monday  
(except for Public holidays) and Aug. 12 to 21, 2025

主催: 國學院大學博物館・国立アイヌ民族博物館  
協力: 公益財団法人石水博物館・國學院大學北海道短期大学部  
後援: 公益社団法人北海道アイヌ協会

アイヌとは、アイヌ語で「人間」を意味し、また民族名称としても使われます。アイヌモシリは「アイヌ(人間)の地(島)」という意味で、アイヌ(人間)がくらす土地という文脈で使われてきました。本展覧会では、北海道を中心とした日本列島北部周辺の地域を表しています。

入館無料  
FREE ADMISSION

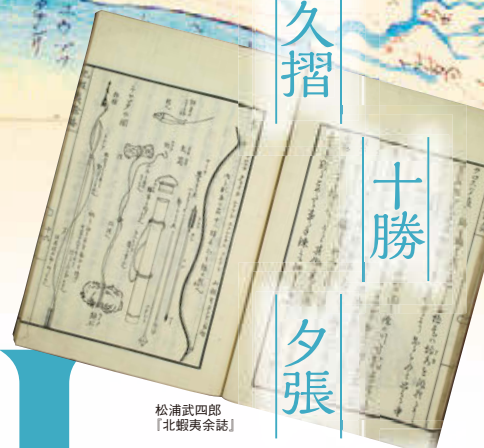
オンラインミュージアム  
Online Museum  
やっています!



ルウンベ(木綿衣)



「蝦夷島奇観」写より



松浦武四郎  
「北蝦夷余誌」



イバースイトキ楕  
タカサラン天目(白)



もっと日本を。もっと世界へ。

國學院大學

ウポポイ  
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK

国立アイヌ民族博物館  
NATIONAL AINU MUSEUM



常時開催

夏休みの自由研究にも!

無料

会期中ご自由にお楽しみください

学ぶ

アイヌ文化を学ぶワークシート

触る

民具をさわってみよう

着る

衣しょうを着てみよう

## 踏査記録 と 民族資料 が並ぶ!

参加  
無料

EVENT LINEUP 会場: 国学院大学博物館

[ミュージアムトーク] 予約不要

I「松浦武四郎と北海道」8月2日(土)15:00～16:00

講師: 内川隆志(国学院大学博物館副館長)

II「描かれたアイヌの人々」9月20日(土)15:00～16:00

講師: 佐々木利和(北海道博物館アイヌ民族文化研究センター長)

[ワークショップ] by ウボポイ 事前予約制・先着順

I ムックリ演奏体験

7月20日(日)14:00～15:00 [定員:30名] ムックリ代:1,100円

II アイヌ文様を描いてみよう

8月30日(土)14:00～15:00 [定員:20名]

III アイヌ文様の刺しゅう体験

8月31日(日)14:00～15:00/15:30～16:30 [定員:各5名]

[公演] 事前予約制・先着順 会場: 国学院大学常磐松ホール

アイヌ伝統芸能 ― 歌と楽器 ―

9月6日(土)17:30～18:30 [定員:200名]

アイヌ文化を知る講座

会場: 国学院大学常磐松ホール

国立アイヌ民族博物館の研究者が渋谷に!

9月6日(土)13:00～16:30 [定員:200名]

「北方諸民族とアイヌ文化」佐々木史郎(国立アイヌ民族博物館館長)

「アイヌ語のさまざまな方言と地名」小林美紀(国立アイヌ民族博物館)

「アイヌの糺い」宮地鼓(国立アイヌ民族博物館)

事前  
予約制  
先着順

[お申込み]



イベントのお申込みは  
当館ホームページ又は  
上記二次元コードより

6月20日より申込み開始!

アイヌ民族がくらす土地  
「アイヌモシリ」に生きる

本展覧会は、国立アイヌ民族博物館(北海道・白老町)の開館5周年を記念し、同館と共同で開催する特別展である。日本列島北部周辺の先住民であるアイヌ民族は、北海道・樺太・千島列島や、本州東北地方北部などの広範囲に暮らしてきた。そして、独自の言語であるアイヌ語、ユカラ(英雄叙事詩)などの口承文芸、イヨマンテ(クマの霊送り儀式)をはじめとする伝統的儀礼、特有の模様を施した工芸作品等に代表される豊かな文化を発展させてきたのである。

本展では、江戸時代以降の地誌や民族資料からアイヌ文化の多様性を概観した上で、「北海道(北加伊道)」の名付け親として知られる松浦武四郎による幕末の「蝦夷地」踏査記録や、和人の横暴を描いたルポルタージュ的作品なども紹介。日本の近代化の過程における同化政策等により困窮して文化の伝承が困難となった事実や、それでも独自のアイデンティティを失うことなく、伝統文化の復興に取り組んでいる現状などについて理解を深め、多文化共生について考えていく機会としたい。



松浦武四郎  
「東西蝦夷山川地理取調図」/  
国学院大学図書館蔵

チェブクレ(蛙皮靴) /  
国立アイヌ民族博物館蔵



トンコリ(弦楽器) /  
国立アイヌ民族博物館蔵



マキリ(小刀) /  
国学院大学博物館蔵

「番人円吉蝦夷記」/  
国学院大学図書館蔵(金田一記念文庫)

松浦武四郎「天塩日誌」/  
国学院大学図書館蔵(金田一記念文庫)

# AYNU Mosir

## The Ainu World: Regional Voices and Cultural Diversity



NATIONAL AINU MUSEUM  
国立アイヌ民族博物館

国立アイヌ民族博物館は、アイヌ民族の誇りが尊重される社会をめざし、多くの人にアイヌの歴史や文化を伝え、アイヌ文化を未来へつなげていくために、北海道白老町に設立されました。https://nam.go.jp

ブンカラ協働展示とは

アイヌ文化でつながる博物館等ネットワーク事業(愛称ブンカラ)の事業として、国立アイヌ民族博物館と国内74の会員機関が連携・協力してアイヌの歴史・文化に関する様々な展示や企画を行っています。

※ブンカラはアイヌ語で「ドウやサルナシ」などの植物の葉を意味し、ネットワーク事業の「繋がり」や「広がり」から連想した名称です。

オンラインミュージアム  
Online Museum  
やっています!



[オンライン展示解説]  
講師: 国立アイヌ民族博物館 &  
国学院大学博物館  
7月26日(土)12:00公開



国学院大学博物館  
Kokugakuin University Museum

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28 [国学院大学渋谷キャンパス内]

TEL: 03-5466-0359 WEB: http://museum.kokugakuin.ac.jp/

開館時間 10:00～18:00 (最終入館17:30)

[ミュージアムショップ 10:30～17:30]

会期中休館日 毎週月曜日(祝日は開館)及び8月12日～8月21日

アクセス

【渋谷駅から】 渋谷駅から徒歩約13分 都営バス(渋谷駅東口バスターミナル 54番のりば 学03日赤医療センター前行)「国学院大学前」下車

【表参道駅から】 表参道駅(地下鉄半蔵門線・銀座線・千代田線)B1出口から徒歩約15分

【恵比寿駅から】 恵比寿駅(JR山手線・地下鉄日比谷線)から徒歩約15分

都営バス(恵比寿駅西口ロータリー1番のりば 学06日赤医療センター前行)「東四丁目」下車

